

「議案第18号 平成24年度奈良市一般会計予算」の組み替えを求める動議

「議案第18号 平成24年度奈良市一般会計予算」について市長は別紙のとおり組み替えを行い、再提出されることを要求します。

平成24年3月23日

奈良市議会議長 上原 雋 様

提出者

奈良市議会議員 北 村 拓 哉

賛成者

奈良市議会議員 山 本 直 子

同 吉 川 等 子

同 井 上 昌 弘

同 松 岡 克 彦

同 山 口 裕 司

同 西 本 守 直

(別紙)

高齢者の暮らしは、かつてなく大変になっています。とくに、この間の連続する年金削減で、ようやく生計を立てておられる高齢者も少なくないなか、国はさらなる年金削減や医療・介護保険料の値上げに加え、消費税引き上げの動きまでみせ、「これでは生きていけない」と悲鳴や怒りの声が渦巻いています。

自治体が、住民福祉向上のために役割をはたし、命を脅かすような国の冷たい政治から「暮らしを守る砦」になることがいまほど求められているときはありません。「福祉都市宣言」「高齢者とともに歩むまち奈良」宣言をしている本市が高齢者に心通わせ、暮らしを守るあたたかい施策に力をいれることがとりわけ求められています。

奈良市の「老春手帳優遇措置事業」いわゆる「シルバーパス」が改悪され、バス乗車や公衆浴場の入浴に1回100円の自己負担導入、映画優待制度が廃止されて3年が経ちました。外出機会が著しく減少し引きこもりになったり、必要な通院の回数を減らさざるを得なくなった高齢者が後をたちません。「改悪前に戻してほしい」の声に奈良市は正面から応えるべきですが、せめて、老人福祉センターは、これまでどおり職員を配置し、老人憩の家を含め、危険箇所・故障機器の改修や耐震診断をすすめること、老人クラブへの助成も単価を減額せず支援することが必要です。また障がい者福祉のなかで、せめて、重度心身障がい者・児の生活行動範囲の拡大と社会参加の促進を図るため、予算を組み替えるべきと考えます。

- 1) 総務費のうち、以下の内容で23,070千円を減額する。
 - 企画総務費 企画調整事務経費 15,177千円のうち、
 - 職場風土一新プロジェクトの実施 2,500千円
 - 「未来奈良市」政策コンテストの開催 2,700千円
 - 政策アドバイザー設置 7,500千円
 - 企画総務費 公益活動推進経費 1,769千円のうち、
 - 市民公益活動を支援する仕組みの構築 670千円
 - 一般管理費のうち、
 - 人事評価経費 2,900千円
 - 職員養成塾経費 1,800千円
 - 一般管理費 行政管理経費 222,630千円のうち、
 - 事務事業の総点検ワーキンググループ 5,000千円

- 2) 民生費のうち、以下の内容で23,070千円を増額する。
 - 老人福祉費のうち、
 - 老人福祉センター運営管理経費 10,300千円
 - 万年青年クラブ活動経費 1,541千円
 - 高齢者福祉施設整備事業費のうち、
 - 高齢者福祉施設整備事業 7,017千円
 - 障害者福祉費のうち、
 - 福祉タクシー助成経費 4,212千円